

コロナの影響で短くなった夏休みでしたが、本所の企画事業であるカヌー体験や親子キャンプ虫の巻、「朝少から体験の風をおこそう」実行委員会主催事業チャレンジキャンプ2020にはたくさんの申し込みがあり、コロナ禍ではあるものの自然体験活動に参加したいという皆さんの思いを感じています。今後もコロナ対策を十分にとりながら、皆さんと一緒に自然体験活動ができるよう楽しみにしています。お待ちしております！

世界で一番暑い夏をみんなで体験！

8月8日(土)から12日(水)の4泊5日で、チャレンジキャンプ2020『～チェンジ&ジャンプ 世界で一番暑い夏～』が開催されました。メインの活動である「月山登山」と「最上川いかだ下り」が大雨の影響で実施できず、「雨のブナ森探検」と「月山湖でのいかだ乗り」に変更して活動しました。雨のブナ森探検では、「樹幹流」を見たり、川のようになっている道をジャブジャブ歩いたり、普段の生活ではできない(やらない)ような体験ができました。雨足が強くなっても参加者は笑顔いっぱい！自然に身を任せて、大自然を満喫してきました。



月山湖のいかだ乗りでは、自分たちで組んだいかだを湖面に浮かべて四谷沢方面へ向かいました。班ごとに考えた掛け声で心をついに力強く進む班、舵取りに苦勞しながらもゴールを目指す班と様々でしたが、沢遊びや棧橋での飛び込み遊びでは、歓声を上げながらみんなで楽しみました。

「ヘラクレスオオカブトとコーカサスオオカブトはどちらが強い？」

ヘラクレスオオカブトは南米に、コーカサスオオカブトは東南アジアに生息しているので現実的に自然環境の中で戦うことはありませんが、人間の手でそういう場面を作って戦わせると、平地ではツノが大きいヘラクレスオオカブトが相手を押さえつけ、木の上では足のツメが大きく木をつかむ力が強いコーカサスオオカブトがそれぞれ勝ち、結果は「引き分け」ということなのです。

このような話を、山形市在住の「虫先生」、横倉 明氏から親子キャンプ～虫の巻～(8/22・23)で話していただきました。世界各国の美しい昆虫や珍しい昆虫、食べると美味しい昆虫など、標本を見ながらその昆虫にまつわる話をお聞きし、実際に生きているオオクワガタやヘラクレスオオカブトを触れる体験もできました。また、本所の活動地の森にバナナトラップを仕掛け、夜と早朝に昆虫採集を行いました。

めあての昆虫を採るといふ親子共通の目標を持っての2日間は、親子の絆やふれあいを育む貴重な時間になったようです。

(所長 板垣恵一)



発行
山形県朝日少年自然の家
電話
0237(62)4125
Fax (62)4126
ホームページ
山形県朝日少年自然の家
で一発検索
下記のQRコードからも
アクセスできます



今後のイベントのご案内

朝日わくわく広場① ワイルドチャレンジキャンプ

10月3日(土)～4日(日)

対象…小学4～6年生(先着54名)



朝日わくわく広場⑧ ヤマガタダイカイギュウと化石掘り

10月24日(土)、25日(日)

対象…小学3年～中学生と保護者(各日先着20名程度)

